

Press Release

June 21, 2021 | ID: 21-V028

ボルボ・カー・グループとノースボルト バッテリーの開発、生産で提携

本プレスリリースは、6月21日スウェーデン本社発の翻訳版です

ボルボ・カー・グループは、スウェーデンの大手バッテリーメーカーであるノースボルトと合弁会社を設立し、次世代の電気自動車(BEV)であるボルボとポールスターの車に搭載するための、よりサステナブルなバッテリーの開発と生産を行う予定です。

その第一歩として、ボルボ・カー・グループとノースボルトは、スウェーデンに研究開発センターを設立し2022年に操業を開始する予定です。

このセンターは、両社のバッテリーに関する専門知識を基に、ボルボ車およびポールスター車に搭載する、次世代の最先端バッテリーセルと、車両統合技術の開発を目的としています。

また、この合弁会社は、年間最大50ギガワット時(GWh)の生産能力を持つギガファクトリーを欧州に新設し、2026年の生産開始を予定しています。

この計画の一環として、ボルボ・カー・グループは、2024年からスウェーデンのスケレフテアにある既存のノースボルト・エットのバッテリー工場から年間15GWhのバッテリーセルを調達することも検討しています。

既に発表されているバッテリー供給契約と合わせて、ノースボルトとのパートナーシップはボルボ・カーズの野心的な電動化計画を推進するヨーロッパでの必要量のバッテリーを確保することになります。ボルボ・カーズは、この10年の半ばまでに総販売量の50%の電気自動車(BEV)を販売し、2030年には電気自動車(BEV)のみを販売することを目指しています。

現在、ボルボ・カー・グループの電気自動車(BEV)用のバッテリーの生産は、自動車のライフサイクル全体の二酸化炭素排出量の大部分を占めています。ボルボ・カー・グループは、持続可能なバッテリー生産のリーダーであるノースボルトと協力し、ヨーロッパの製造施設の近くでバッテリーを生産することで、将来の自動車のためのバッテリーの調達と生産に起因する環境負荷を削減することができます。

ボルボ・カー・グループの最高経営責任者であるホーカン・サムエルソンは、「ノースボルトと協力することで、我々が電気自動車に移行するために、高品質でより持続可能なバッテリーセルの供給を確保することができます。ノースボルトと密接に協業することで、当社の社内開発能力を強化することもできます」と述べています。

100%クリーンエネルギーで稼働することが計画されている新ギガファクトリーでは、約3,000人の雇用が見込まれています。新工場の場所はまだ決まっていません。この合弁会社で開発されたバッテリーセ

ルを搭載する最初の車は、ボルボ・カーズのベストセラーモデル XC60 の電気自動車(BEV)になる予定です。

ノースボルトの共同設立者兼 CEO であるピーター・カールソンは、「ボルボ・カーズとポールスターは、電動化への移行において業界をリードする企業であり、世界で最も持続可能なバッテリーセルの開発と生産を目指す私たちのこれからの旅における完璧なパートナーです。ヨーロッパにおける両社の独占的なバッテリーセル生産パートナーになれることを誇りに思います」と述べています。

ノースボルトとのパートナーシップは、2030 年までにプレミアム電気自動車の分野でリーダーとなり、電気自動車のみを販売するというボルボ・カーズの高い目標にとって重要なものです。また、真の技術リーダーとのパートナーシップと相まって、ボルボ・カー・グループの自社開発能力を拡大するための重要なステップとなります。

ポールスターにとっては、欧州での成長をさらに後押しするものであり、2030 年までにクライメート・ニュートラルな車を作ることを目標としたポールスター0(ゼロ)プロジェクトへのコミットメントを明確にするものです。

ボルボ・カーズの最高技術責任者(CTO)であるヘンリック・グリーンは、「次世代のバッテリーセル技術をノースボルトと共同で自社開発することで、ボルボとポールスターのドライバーに特化したバッテリーを設計することができます。当社の電気自動車用に自社開発したセルを使うことにより、ボルボとポールスターのお客様が求める、最適な航続距離や短い充電時間などの実現に注力することができます」と述べています。

産業オペレーション・品質部門の責任者であるハビエル・ヴァレラは「2030 年までの全面的な電動化に向けて、ノースボルトとのコラボレーションは、当社の産業ネットワークにとって重要なステップです。バッテリーは電気自動車において最も重要な部品の一つであり、ノースボルトとの提携により、ヨーロッパにおける高品質で持続可能なバッテリーの効率的で費用対効果の高いサプライチェーンを確保することができます」と述べています。

ボルボ・カーズは、6 月 30 日に開催される「ボルボ・カーズ・テック・モーメント」で、将来の技術ロードマップの詳細を明らかにする予定です。

本提携および合併会社は、取締役会の承認を含む当事者間の最終的な交渉および合意を前提としています。

2020 年のボルボ・カー・グループ

2020 年度のボルボ・カー・グループの営業利益は 85 億 SEK(スウェーデン・クローナ)(2019 年度は 143 億 SEK)を記録しました。売上高は 2,628 億 SEK(前年 2,741 SEK)に達しました。2020 年通年の世界販売台数は 661,713 台(705,452 台)で、2019 年と比較して 6.2%の減少となりました。

ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは、1927 年に創業した高級自動車ブランドの一つで、2020 年には約 100 カ国で 66 万 1713 台を販売しています。2020 年 12 月現在、ボルボ・カーズの正社員は約 40,000 人(前年 41,500 人)で、ボルボ・カーズの本社、商品開発、マーケティング、管理機能は主にスウェーデンのイエーテボリにあり、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。主な生産拠点は、イエーテボリ(スウェーデン)、ゼント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン工場があり、オルフストローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。

ボルボ・カーズは、企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。この目標のもと、今後 5 年間で電気自動車の世界販売台数を 50%にし、500 万人のお客様とのダイレクトコンシューマービジネスの確立を目指しています。また、ボルボ・カーズは 2040 年までにクライメート・ニュートラルを実現することを目標に、CO₂ 排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

ポールスターについて

ポールスターは、ボルボ・カーズとジーリー・ホールディングが設立したスウェーデンの独立系プレミアム電動パフォーマンスカーブランドです。2017年に設立されたポールスターは、ボルボ・カーズとの特定の技術およびエンジニアリングの相乗効果を受けており、その結果、大きなスケールメリットの恩恵を受けています。同社はスウェーデンのヨーテボリに本社を置き、その車両はヨーロッパと北米の10のグローバル市場、および中国で販売され、走行しています。2021年、ポールスターはヨーロッパとアジア太平洋地域の8つの新しい市場に進出します。

ポールスターは、2種類の電動パフォーマンスカーを生産しています。ポールスター1は、少量生産の電気自動車・ハイブリッドGTで、カーボンファイバー製ボディ、609ps、1,000Nm、電気のみでの航続距離は124km(WLTP)と、世界のハイブリッドカーの中で最長を誇ります。ポールスター2 エレクトリック・パフォーマンス・ファストバックは、当社初の完全な電気自動車であり、量産車です。ポールスター2には、最長78kWhの長距離用バッテリーと標準型バッテリー、最高300kW/408ps、660Nmのデュアルモーターとシングルモーターのパワートレインを組み合わせた3つのモデルが用意されています。

将来的には、電動パフォーマンス SUV「ポールスター3」がポートフォリオに加わるほか、2020年に発表され、将来的な生産が予定されているデザインスタディ車両「プリセプト」も登場します。プリセプトは、サステナビリティ、デジタル技術、デザインの面で、ブランドの未来像を示しています。

ノースポルトについて

ノースポルトは、持続可能で高品質なバッテリーセルとシステムを提供するヨーロッパのサプライヤーです。欧州の脱炭素社会への移行を実現するために設立された同社は、CO₂排出量を最小限に抑えた世界で最も環境に優しいリチウムイオン電池を提供するというミッションを迅速に達成しています。ノースポルトの産業パートナーおよび顧客には、ABB、BMWグループ、スカニア、シーメンス、ヴァッテンフォール、ヴェスタス、フォルクスワーゲングループ、ボルボ・カーズなどがあります。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報

vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2021 Volvo Car Japan Limited